

15 水源の森応援隊

- 【日 時】 平成 30 年 9 月 29 日（土）10：30～13：00
【会 場】 王滝村 松原スポーツ公園
【内 容】 以下のとおり

森林整備協定を締結している愛知中部水道企業団との交流事業の一環として毎年行っている「水源の森応援隊」が開催され、企業団管内 4 市 1 町（日進市、豊明市、みよし市、長久手市、東郷町）の一般住民 64 人（子供なし）、同水道工事組合 37 人、企業団職員 12 人の合計 113 人、上流域スタッフは 24 人（瀬戸副連合長・王滝村長、王滝村 2 人、実行委員 15 人、広域連合 6 人）の合計 137 人が参加しました。

当初は王滝村九蔵の村有林において除伐を予定しており、朝 9 時に九蔵の旧営林署土場跡地に集合しましたが、台風の接近に伴う強い雨のためやむなく作業を中止とし、同村松原スポーツ公園において式典及び体験教室を行いました。

10 時 30 分より開会式典を行い、愛知中部水道企業団野々山局長と瀬戸副連合長・王滝村長からそれぞれご挨拶いただき、参加者の皆様へ、森林整備協定に基づく双方の「1 トン 1 円」の基金を活用し木曾郡内の民有林整備へ補助を開始してから 13 年間（H17～29）で約 1 万 ha の間伐・除間伐が行われたことをお話いただきました。

式典後は、「ひのきの箸づくり体験」と「薪割り体験」を行いました。このうち、箸づくり体験については、公園内の管理棟の部屋をお借りして、広域連合職員が指導しました。時間と材料の制約があったため、一般参加者のうち希望者のみを対象としました。11 月に企業団管内の各市町で開催される「産業まつり」で毎回出展しているものの、実際に箸づくりをされるのは初めてという方がほとんどでした。ひのき棒を削るときの音や香りを楽しみながら、62 人の方にご参加いただきました。

薪割り体験は、王滝村にご協力いただき資材をご用意いただきました。同公園には大屋根広場に普段から薪がストックされていますが、これらは台風などにより路上に倒れた木を同公園に集めて薪にしたもので、普段から薪ストーブの燃料として村役場や公共施設などで活用されているそうです。同村の田中経済産業課長を中心に上流のスタッフが指導しました。始めに丸太を 30～40cm に玉切りしてから斧で割る単純な作業ですが、斧をまっすぐ振り下ろさないと丸太にうまく当たらないので苦労していました。斧がうまく丸太に入りまっ二つに割れると、周囲からも歓声が上がっていました。

希望者すべての箸づくり体験が終了した 12 時 10 分頃より閉会式典を行い、木曾地域振興局林務課の上野係長から講評をいただき、その後は同村「おんたけ広場」様に作っていただいた豚汁とお茶を全員にお配りして昼食を取り、午後 1 時には下流域からの参加者が出発し、行事は終了となりました。

平成 30 年度地域間交流事業

☆ 当日の様子



企業団 野々山局長あいさつ



瀬戸副連合長・王滝村長あいさつ



当日の参加者



箸づくり体験



薪割り体験